

2014年12月期 決算説明会

株式会社ツカダ・グローバルホールディング
<http://www.tsukada-global.holdings>

2015年2月16日

TSUKADA
GLOBALH
OLDINGS

目次

1. 2014年12月期決算概要

連結決算概要	3
連結四半期業績推移	4
連結貸借対照表	5
連結キャッシュ・フローの状況	6
国内婚礼事業の状況 総括	7
ホテル事業の状況 総括	8
ホテル事業の状況 ホテル インターコンチネンタル 東京ベイの一層の強化	9
ホテル事業の状況 スプリングホテル東京インターコンチネンタルの経営権取得	10
海外事業の状況 総括	11
W&R事業の状況 (株)FAJAの子会社化	12
W&R事業の状況 総括	13

2. 2015年12月期業績予想

連結業績予想	15
--------	----

3. 今後の事業戦略

今後の事業戦略 持株会社化によるグループの持続的な成長	17
今後の事業戦略 国内婚礼事業の強化と経営の多角化	18
ホテル事業戦略 名古屋（ささしまライブ24地区）への出店	20
ホテル事業戦略 スプリングホテル東京インターコンチネンタルの収益性向上	21
国内婚礼事業戦略 楽婚・家族挙式の新たな展開	22
国内婚礼事業戦略 自社コンテンツの外部販売強化による収益性の向上	23
海外事業戦略 次の時代の成長に向けての基盤作りを継続	24
W&R事業 店舗展開の状況（所在地別）	25
W&R事業戦略 クイーンズウェイの再生/複合温浴施設の開発	26
その他事業戦略 事業用地の取得	27

■ 付属資料

国内婚礼・ホテル事業 店舗展開の状況	28
海外事業 店舗展開の状況	31
会社概要	32

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、本資料の決算データ・会社データは2014年12月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証したは約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2014年12月期 決算概要

ホテル事業が好調に推移したことに加え、ウェルネス&リラクゼーション事業への進出により前期比で増収。 営業利益・経常利益は前期比・計画比で減少したが、当期純利益はほぼ計画通り。

- ・ストリングスホテル東京インターコンチネンタルの経営権を取得した(株)ベストグローバルが増収に寄与。
ホテル インターコンチネンタル 東京ベイを運営する(株)ホスピタリティ・ネットワークの業績も好調に推移し増収増益。
- ・2014年9月にリフレクソロジーサロン等を運営する(株)FAJAを子会社化し、W&R（ウェルネス&リラクゼーション）事業に進出。
- ・国内婚礼事業が減収となったことにより、営業利益・経常利益が減少。
当期純利益は、(株)ホスピタリティ・ネットワークの業績安定による税効果会計適用等により前期比で増加し、ほぼ計画通り。

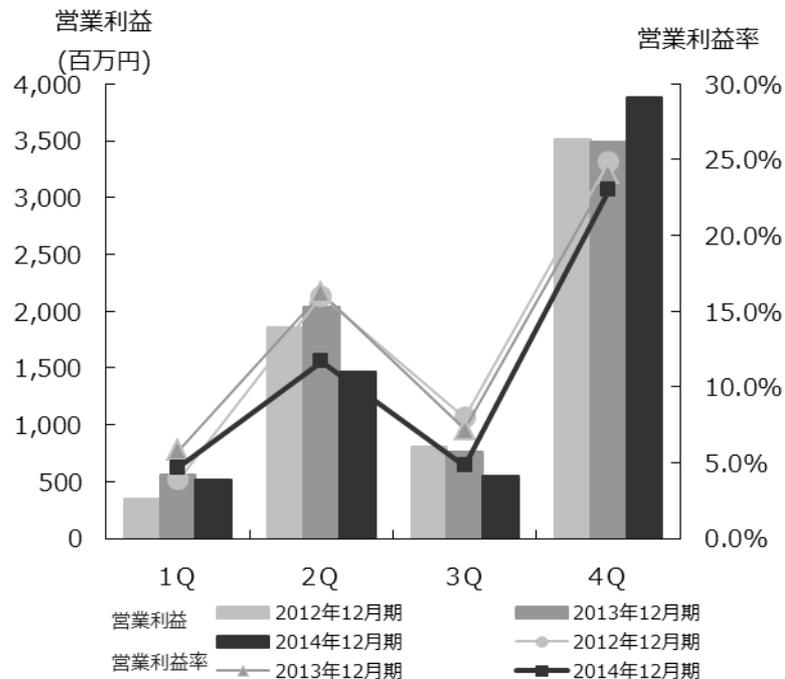
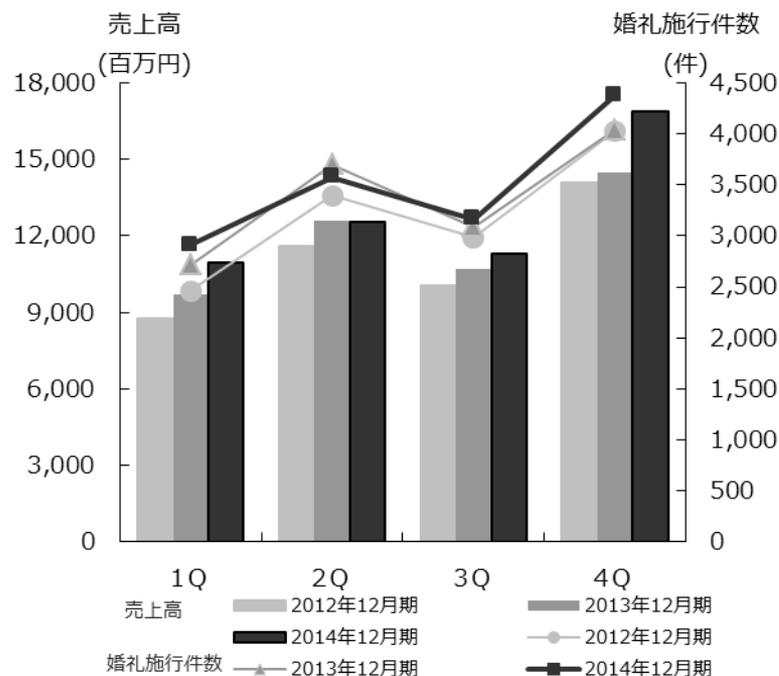
(単位：百万円)

	2014/12期 計画	2014/12期 実績	計画比 増減率	2013/12期 実績	前期比 増減率
売上高	52,650	51,691	△1.8%	47,426	+9.0%
国内婚礼	38,650	36,849	△4.7%	37,392	△1.5%
ホテル	10,750	10,635	△1.1%	7,139	+49.0%
海外	3,250	3,458	+6.4%	2,894	+19.5%
ウェルネス&リラクゼーション	—	747	—	—	—
売上総利益	18,500	17,900	△3.2%	16,780	+6.7%
販売費及び一般管理費	11,250	11,493	+2.2%	9,923	+15.8%
営業利益	7,250	6,406	△11.6%	6,856	△6.6%
経常利益	7,250	6,708	△7.5%	7,129	△5.9%
当期純利益	4,300	4,294	△0.1%	4,236	+1.4%
婚礼施行件数	14,815件	14,031件	△5.3%	13,547件	+3.6%
国内婚礼事業	10,690件	10,187件	△4.7%	9,857件	+3.3%
ホテル事業	885件	819件	△7.5%	758件	+8.0%
海外事業	3,240件	3,025件	△6.6%	2,932件	+3.2%
1株当たり当期純利益 [※]	88.06円	87.95円	—	86.62円	—
1株当たり年間配当金 [※]	10円	10円	—	10円	—

※ 平成25年7月1日付で普通株式1株を200株にする株式分割を行いました。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純利益及び1株当たり配当金を算定しております。

連結四半期業績推移

ホテル事業が増収に貢献するも、通期営業利益は減少。ただし、第4四半期については前年同期比プラス。



売上高(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q
2012/12	8,769	11,600	10,031	14,093
2013/12	9,687	12,577	10,679	14,481
2014/12	10,942	12,569	11,281	16,898
婚礼施行件数(件)	1Q	2Q	3Q	4Q
2012/12	2,462	3,395	2,981	4,030
2013/12	2,717	3,700	3,088	4,042
2014/12	2,911	3,576	3,162	4,382

営業利益(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q
2012/12	345	1,857	805	3,510
2013/12	560	2,036	764	3,494
2014/12	514	1,466	545	3,879
営業利益率	1Q	2Q	3Q	4Q
2012/12	3.9%	16.0%	8.0%	24.9%
2013/12	5.8%	16.2%	7.2%	24.1%
2014/12	4.7%	11.7%	4.8%	23.0%

連結貸借対照表

積極的な投資により総資産が増加。

- ・JCR（㈱日本格付研究所）長期発行体格付 BBB+・安定的で据え置き（2014年7月1日更新）。
- ・神宮前の土地取得により有形固定資産が6,206百万円増加。
- ・土地取得及び㈱FAJAの株式取得に伴う資金調達のため有利子負債が増加。自己資本比率は40%台を維持。

（単位：百万円）

	2013/12期 期末	2014/12期 期末	増 減
流動資産	17,895	20,923	+3,028
固定資産	36,016	46,236	+10,219
有形固定資産	21,460	28,109	+6,648
無形固定資産	1,153	2,999	+1,845
投資その他の資産	13,402	15,127	+1,725
繰延資産	56	108	+52
資産合計	53,968	67,269	+13,300

神宮前土地 6,206百万円

流動負債	10,370	11,463	+1,093
固定負債	18,929	27,094	+8,164
負債合計	29,300	38,558	+9,258
純資産合計	24,668	28,710	+4,042
負債純資産合計	53,968	67,269	+13,300

自己資本比率	45.7%	42.7%	△3.0p
有利子負債 [※]	19,273	27,149	+7,876
有利子負債依存度	35.7%	40.4%	+4.6p

※ ゼロクーポンの転換社債型新株予約権付社債を含みます。

営業CFは増加したものの、積極的な投資活動によりフリーCFはマイナスとなる。

(単位：百万円)

	2013/12期	2014/12期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,022	6,960	
うち税金等調整前当期純利益	7,132	6,363	
うち減価償却費	2,653	2,696	
うち法人税等の支払額	△ 3,409	△ 2,644	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,457	△ 10,780	
うち有形固定資産の取得による支出	△ 1,938	△ 8,276	神宮前土地 6,206百万円等
うち連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△ 2,048	(株)FAJA株式取得
うち事業譲受契約前渡金の支出	△ 1,710	—	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,897	7,108	
うち長期借入れによる収入	1,500	7,981	土地取得資金 6,000百万円等
うち長期借入金の返済による支出	△ 3,366	△ 2,821	
うち社債発行による収入	—	2,930	(株)FAJA株式取得資金
うち転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	4,966	—	
現金及び現金同等物の期末残高	13,758	17,354	
フリーキャッシュ・フロー	565	△ 3,819	

下期は前年同期比で増収となったものの、上期の遅れを取り戻せず、減収減益となる。

- ・上期実績は、売上高16,985百万円（前期比△693百万円）、セグメント利益2,603百万円（前期比△919百万円）、下期実績は、売上高19,863百万円（前期比+150百万円）、セグメント利益4,544百万円（前期比△15百万円）。下期の売上高は前年同期を上回り、利益もほぼ前年同期並みだったものの、上期での遅れを取り戻すことができず、減収減益。
- ・婚礼スタイルの多様化により、少人数婚礼が増加。
- ・ゲストハウスを利用しての一般宴会、レストラン営業は堅調に推移。
- ・(株)アクア・グラツィエで積極的な先行投資を行い、本店移転・新規店舗開業、映像・写真の内製化に係る費用を218百万円計上。
- ・ささしまプロジェクトの開業準備費用140百万円を計上。

(単位：百万円)

	2013/12期	2014/12期	前 期 比	
			増減	増減率
売上高	37,392	36,849	△542	△1.5%
セグメント利益	8,082	7,147	△934	△11.6%
施行件数	9,857件	10,187件	+330件	+3.3%

ストリングスホテル東京インターコンチネンタルの経営権取得により大幅に売上高が増加。 ホテル インターコンチネンタル 東京ベイも順調に推移し、セグメント利益も大幅に増加。

- ・両ホテルとも、訪日外国人の増加により、外国人宿泊者数が増加し宿泊売上が好調に推移。
- ・ホテル インターコンチネンタル東京ベイの売上高も順調に推移し、収益に貢献。

(単位：百万円)

	2013/12期	2014/12期	前 期 比	
			増減	増減率
売上高合計	7,139	10,635	+3,496	+49.0%
宿泊売上	2,183	4,396	+2,212	+101.3%
レストラン売上	989	1,922	+932	+94.3%
婚礼売上 ^{※1}	3,409	3,607	+197	+5.8%
宴会売上	630	786	+156	+24.8%
その他 ^{※2}	-73	-76	△2	-
セグメント利益	1	432	+431	-
婚礼施行件数	758件	819件	+61件	+8.0%

ストリングスホテル東京インターコンチネンタルの経営会社である㈱ベストグローバル、ホテル インターコンチネンタル 東京ベイの経営会社である㈱ホスピタリティ・ネットワークの業績を合計した数字です。

※1 婚礼受託（1会場）の売上を含みます。

※2 セグメント内及びセグメント間の調整金額を含みます。

■バンケット「カールトン」をリニューアル、「エンターテインメントライブキッチン」を新設

シェフが目の前で調理し、できたての最高の料理でおもてなしする。ホテルの宴会場では初の試みで婚礼受注が向上。



■「レインボーブリッジビューダイニング&シャンパンバー マンハッタン」オープン

ダイニングエリアでは「ニューヨークグリル・フレンチ」、テラスエリアでは「シャンパンバー」、2つのハイセンスエリアをご用意。



■レストランの認知度・評価がアップ – OZ、一休のランキングアワードでのランクイン

- ・OZ 2014ランキングアワードにて、新規オープンの「マンハッタン」をはじめ、5つの全レストランがランクイン。
- ・一休 2014ランキングアワードにて、「ラ・プロヴァンス」「ジリオン」がランクイン。

2014年1月～ スtringスホテル東京インターコンチネンタルの経営権取得

Stringスホテル東京インターコンチネンタルの概要

住所 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 26-32F
アクセス JR品川駅（港南口）より徒歩1分
面積 15,452㎡
客室数 206室

- ・JR品川駅に直結し、羽田空港へのアクセスの良さもあり、高い宿泊稼働率と宿泊単価を保っている。
- ・訪日外国人数の増加を追い風に、6年後の東京オリンピックも控え、今後の更なる成長が見込まれる。
- ・官民（JR東日本、東京都等）一体となった品川周辺の再開発により、更なるエリアの活性化が見込まれる。



施行件数・売上高ともに増加。外国人挙式の増加傾向が継続。

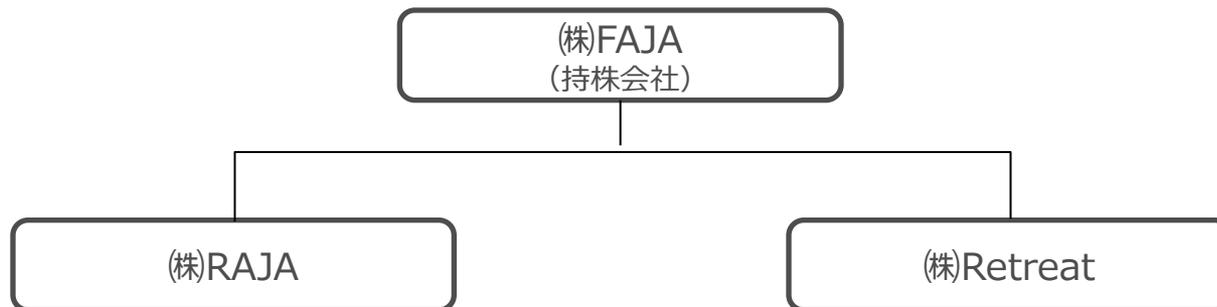
- ・競合施設の開業により旅行会社経由の件数が減少するも、直販営業が堅調に推移し、売上高が増加。
- ・マーケットは、為替変動にも関わらず安定的に推移。
- ・外国人挙式が大幅に増加。バリ島では、エージェント経由の中国人挙式が増加。また、高単価なパーティー付きの挙式も好調。

(単位：百万円)

	2013/12期	2014/12期	前 期 比	
			増減	増減率
売上高	2,894	3,458	+563	+19.5%
セグメント利益	69	173	+103	+149.7%
期末施設数	9	8	-1	-
施行件数	2,932件	3,025件	+93件	+3.2%
ハワイ	2,363件	2,332件	△31件	△1.3%
バリ	569件	693件	+124件	+21.8%
ハワイ/バリ DW※	636件	879件	+243件	+38.2%

※DW = デスティネーション・ウェディング (外国人挙式)

リフレクソロジー事業を手掛ける(株)FAJAを子会社化。ウェルネス&リラクゼーション事業に進出。



リフレクソロジーサロン
「Queensway (クイーンズウェイ)」の運営

- ・「元祖 英国式リフレクソロジー」で知られる日本におけるリフレクソロジーサロンのパイオニア。
- ・全国で36店舗を展開。いずれも駅近の好立地。
- ・高いブランド力と技術力により、高単価を維持。



リフレクソロジー・スクールの運営

- ・全国で6校展開。
- ・多くの修了生をクイーンズウェイのスタッフとして輩出。
- ・雇用スタッフ向けの上級コースも開設しており、高い技術力を持つ人材の確保につながっている。



第4四半期より(株)FAJAグループの損益を計上。のれん償却後も利益確保。

- ・9月に(株)FAJAを子会社化したことに伴い、第4四半期より新たなセグメントとして「W&R（ウェルネス&リラクゼーション）事業」の損益を計上。
- ・セグメント利益は45百万円。のれん償却（34百万円）後も利益確保。

(単位：百万円)

	2014/12期
売上高	747
セグメント利益	45
期末店舗数	36

ご参考：(株)FAJAグループの通期実績は、売上高3,128百万円、営業利益273百万円。

2015年12月期業績予想

W&R事業の通年寄与により大幅増収。名古屋ささしま開業費用計上により利益は前期並み。

- ・W&R事業の業績が通年寄与することにより、大幅な増収を見込む。
- ・国内婚礼事業は、ゲストハウスの多角的な運営（レストラン・宴会等）と少人数婚礼の好調な受注状況を受け増収を見込む。
- ・ホテル インターコンチネンタル 東京ベイは、婚礼部門の受注状況が好調に推移し、更なる収益性の向上を見込む。
- ・名古屋八事、名古屋ささしまについては、今期より「ホテル事業」としてセグメント変更。ささしまの開業準備費用620百万円計上を見込む。
- ・DESTINATION・ウエディング（DW:外国人挙式）の施行件数については、今後も増加を見込む。
- ・名古屋ささしまの開業による費用増加により、利益については前期並みを見込む。

(単位：百万円)

	2014/12期 実績	2015/12期 計画	前 期 比	
			増減	増減率
売上高	51,691	56,420	+4,728	+9.1%
国内婚礼事業	35,021	35,710	+688	+2.0%
ホテル事業	12,464	13,690	+1,225	+9.8%
海外事業	3,458	3,650	+191	+5.5%
W&R事業	747	3,370	+2,622	+350.7%
営業利益	6,406	6,470	+63	+1.0%
営業利益率	12.4%	11.5%	△0.9p	
経常利益	6,708	6,490	△218	△3.3%
経常利益率	13.0%	11.5%	△1.5p	
当期純利益	4,294	4,200	△94	△2.2%
当期純利益率	8.3%	7.4%	△0.9p	

※2014年12月期実績につきましては、2015年12月期の名古屋八事及び名古屋ささしまの国内婚礼事業→ホテル事業のセグメント区分変更に合わせて数字を変更しております。

今後の事業戦略

**「世界最高のおもてなし創造企業」を目指し、グローバルな事業拡大を加速。
国内婚礼事業、ホテル事業、海外事業にW&R事業を加え、売上高800億円企業へ。**

【持株会社制への移行】

2014年7月1日付で持株会社制へ移行し「ツカダ・グローバルホールディング」に商号変更。

①国内婚礼事業の多様化 ②事業領域の拡大 ③海外を含めたM&A を積極的に実現していく。

【基本事業方針】

- ・「世界最高のおもてなし創造企業」として、革新的な新商品を世の中に提案し続ける。
- ・それぞれの事業体が自律的に顧客価値を最大化、多様化する顧客ニーズに柔軟に応えながら成長する。
- ・当社のコア・コンピタンスである、施設の開発・所有および人材の育成・配置は、持株会社がマネジメント。グループ内の経営資源の最適化と有効活用を図る。

今後の事業戦略 国内婚礼事業の強化と経営の多角化①

少子化により、婚姻件数は徐々に減少傾向を見せ始め、2009年からは減少トレンド入り更に、2011年3月に発生した東日本大震災を契機に婚礼スタイルの変化が顕在化

■ ゲストハウスの活性化 – 人生の節目でご利用いただける施設へ

- レストランビジネスへの取り組み
 - ・レストラン「マンジャーレ」の展開
- 宴会ビジネスへの取り組み
 - ・専任担当者による積極的な宴会営業

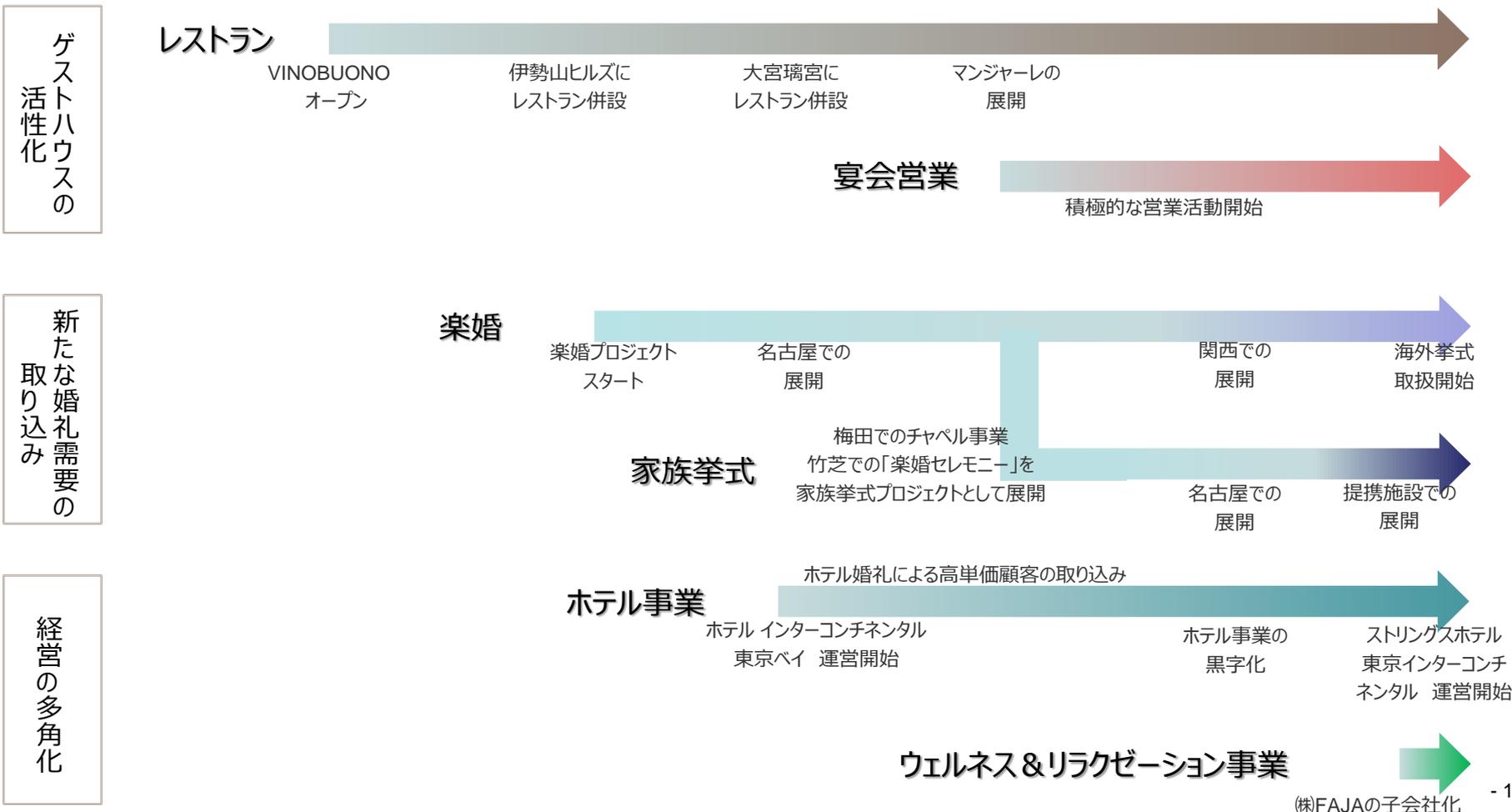
■ 新たな婚礼需要の取り込み

- 「楽婚」の展開
 - ・婚礼プロデュース事業の拡大
- 「家族挙式」の展開
 - ・少人数挙式の取り込み
- ホテル事業参入による「ホテル婚礼」の展開
 - ・高単価顧客の取り込み

■ 経営の多角化

- ホテル事業への参入
 - ・2011年1月 「ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ」の運営開始
 - ・2014年1月 「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」の経営権取得
- ウェルネス&リラクゼーション事業への参入
 - ・2014年9月 (株)FAJAの子会社化

今後の事業戦略 国内婚礼事業の強化と経営の多角化②



ゲストハウスの
活性化

新たな婚礼需要の
取り込み

経営の
多角化

名古屋（ささしまライブ24地区）への出店 2016年1月グランドオープン

プロジェクト概要

住所	名古屋市中村区ささしまライブ24土地区画整理事業仮換地1街区1番
設備投資額	7,600百万円
延べ面積	約4,500坪（ゲストハウス部分含む）
階数	地上8階
主な施設	宿泊施設（126室）・レストラン／2チャペル・6バンケット・1小宴会場併設（予定）
2015年11月～ 2016年1月	婚礼施行開始 グランドオープン

当社がこれまで培ってきたゲストハウス・ホテルの店舗開発力・運営力

⇒ゲストハウスとホテルを融合させた**従来にない全く新しい価値を持った複合施設**



■ 婚礼部門強化によるStringスホテル東京インターコンチネンタルの収益性向上

● チャペル新設による商品力の向上

- ・吹き抜けのロビー階にチャペルを新設。設備投資額2億円。2月14日オープン。
- ・挙式を重視する顧客層の取り込みが可能となり、集客力が向上。



■「楽婚」－同業他社との提携による海外挙式の販売

同業他社での海外・リゾート挙式＋楽婚での帰国後パーティーをセットで販売

提携企業：(株)ワタベウェディング、(株)ワールドブライダル 等

提携エリア：ハワイ・グアム・サイパン・バリ・オーストラリア 等

- ・当社グループで従来取り扱っていなかったエリアの海外挙式も販売
- ・各企業の強みを生かした商品開発



■「家族挙式」－提携施設での展開を本格化

新規エリア展開による更なる売上拡大を図る

- ・仙台エリア－2014年8月 営業開始
提携施設：仙台国際ホテル、聖ヨハネ仙台ゆりが丘教会
- ・広島エリア－2015年6月 営業開始
提携施設：オリエンタルホテル広島、ホテルグランヴィア広島、ひろしま国際ホテル

現在、その他関東エリア12施設、中京エリア13施設、関西エリア8施設と提携提携施設、エリアともに拡大予定

有名ホテル・式場との提携により、「家族挙式」をプラットフォームとして全国展開



■(株)アクア・グラツィエの外販強化

●「衣装」「メイク」「写真・映像」「挙式」のコンテンツ外部販売開始

・「衣装」「メイク」「写真・映像」「挙式」という、婚礼事業に欠かせないコンテンツを全て取り扱っている強みを生かし、ホテル、式場、レストランへの営業活動を開始。

●他社へのテナント出店

・他社ホテル・式場へ、テナントとして出店を行うことにより、安定的な収益を確保する。

●ドレスサロン（路面店）での一般顧客取り込み強化

・積極的なPRにより、一般顧客の比率を高める。

・2014年2月－本店が移転し、「表参道グランドサロン」としてオープン。サロン内でファッションショーを定期的に行う。

・2015年5月－横浜店移転予定。本店と同様、一般顧客を意識した店舗づくりを行う。



■ 世界中から観光客が集まるハワイとバリ島に、安定した事業基盤を構築。

- ・アジアからの挙式顧客の大幅増が見込まれる二大エリアに、8か所の挙式施設を展開。
- ・ハワイとバリ島では、外国人挙式が年々増加。バリ島では、中国人マーケットが活性化し急速に拡大。
- ・活動拠点を分散し過ぎず、安定的に事業運営ができる体制を構築。

■ 将来的なアジア展開を見据え、シンガポールにレストランを出店。

- ・将来的なアジア展開のハブとして、人的ネットワークや事業ノウハウの獲得を図る。

LEWIN TERRACE

フォート・カニング・パーク内にオープン。ジャパニーズ・フレンチレストラン。

21 Lewin Terrace Singapore, Singapore 179290
<http://lewinterrace.com.sg>
TEL: +65 6333 9905



W&R事業 店舗展開の状況（所在地別）

サロン36店舗・スクール6校

(2014年12月31日現在)

東京：クイーンズウェイ 銀座並木通り
クイーンズウェイ 銀座八丁目
スパクイーンズウェイ 八重洲地下街
クイーンズウェイ 麻布十番
スパクイーンズウェイ 浜松町
クイーンズウェイ 新宿京王百貨店
スパクイーンズウェイ 新宿京王モール アネックス
クイーンズウェイ アトレ目黒
クイーンズウェイリゾート自由が丘
スパクイーンズウェイ アトレ大森
スパクイーンズウェイ 渋谷道玄坂
クイーンズウェイ 池袋西口地下街
クイーンズウェイ 立川
スパクイーンズウェイ アトレ吉祥寺
(東京本校)

福岡：クイーンズウェイ アミュエスト博多店
スパクイーンズウェイ 福岡新天地
(福岡校)

大阪：クイーンズウェイ ハービスエント大阪
クイーンズウェイ 大阪ディアモール
クイーンズウェイ 梅田阪急三番街
スパクイーンズウェイ 京阪モール
(大阪校)

北海道：クイーンズウェイ 札幌APIA
スパクイーンズウェイ 札幌APIA
(札幌校)

埼玉：クイーンズウェイ 大宮そごう専門店街
クイーンズウェイ 浦和コルソ

千葉：クイーンズウェイ シャポー市川

神奈川：クイーンズウェイ 横浜ダイヤモンド地下街
スパクイーンズウェイ 横浜地下街ポルタ
スパクイーンズウェイ 川崎アゼリア
クイーンズウェイ ららテラス 武蔵小杉
クイーンズウェイ JR平塚駅ラスカ
クイーンズウェイ 小田原ラスカ

静岡：スパクイーンズウェイ 静岡パルシェ
(熱海校)

愛知：クイーンズウェイ 名古屋地下街ユニモール
スパクイーンズウェイ 名古屋地下街サンロード
(名古屋校)

京都：クイーンズウェイ 京都駅地下街ポルタ
クイーンズウェイ 高島屋京都

■クイーンズウェイー新しい時代のリラクゼーションサロンを目指す

既存店のリモデルによる店舗の活性化

- ・数年をかけ、総額1億円のリモデル投資を実施。
- ・当社の空間づくりのノウハウを生かし、より高級感のある、リラックスできる店舗づくりを行う。

■大宮第3期開発事業－複合温浴施設の開発

「美・楽・SPA（仮）」2016年春 開業予定

メインターゲットを女性とし、女性が生き生きと輝くための「美」「健康」をサポートする施設とする。



■ 事業用地として渋谷区神宮前の土地を取得

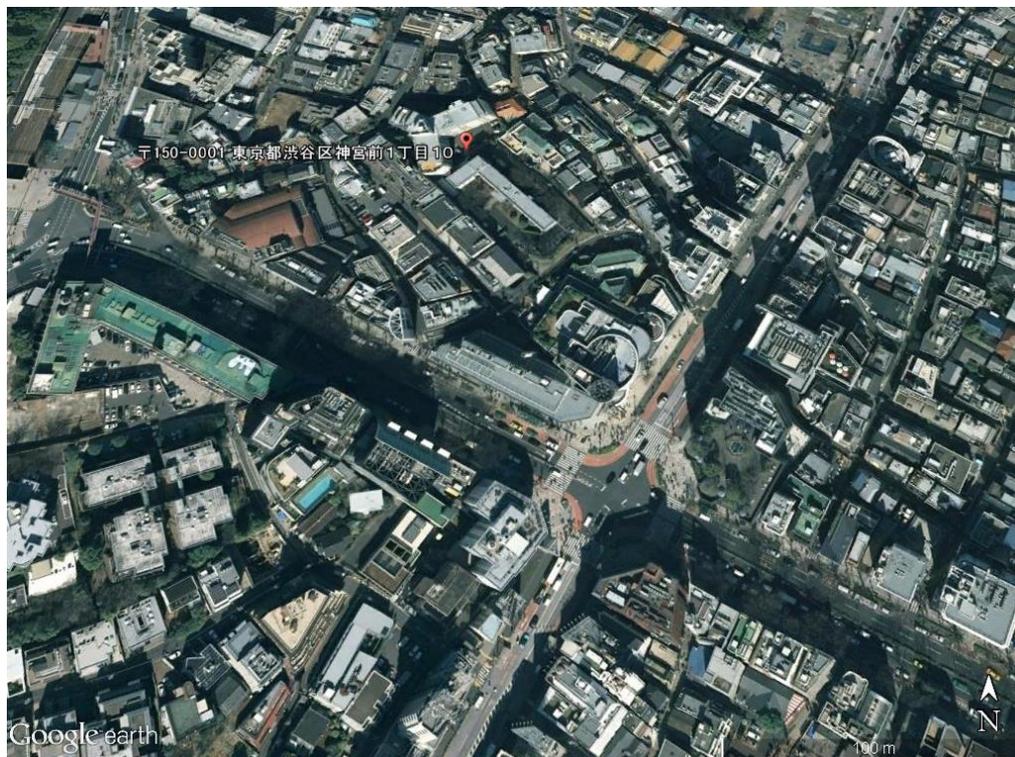
明治神宮前駅から徒歩1分。資産価値の非常に高い物件。
2018年12月期の事業化を目指し、婚礼を主体とした複合施設の開発を現在検討中。

物件概要

所在地 東京都渋谷区神宮前一丁目10番8、10番9

取得価額 6,024百万円

土地面積2,327.27㎡（登記簿）



国内婚礼・ホテル事業 店舗展開の状況① (所在地別)

19店舗 (58ゲストハウス)
2ホテル (6バンケット)

(2014年12月31日現在)

日本橋 : アフロディテ(1)
 白金 : アートグレイスクラブ(2)
 青山 : セントグレース大聖堂(3)
 市ヶ谷 : アプローチスクエアTOKYO(1)
 赤坂 : アプローチスクエア迎賓館(1)
 お台場 : パラッツォ エ マーレ(1)
 浜松町 : ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ(5)
 品川 : スtringsホテル東京インターコンチネンタル(1)

京都 : アートグレイス ウェディングヒルズ(3)

大阪 : アートグレイス・ウェディングコースト(5)
 心斎橋 : セントグレース ヴィラ(2)

仙台 : A.R.E.仙台アートグレイス・ウェディングフォレスト(3)

大宮 : アートグレイス ウェディングシャトー(4)
 アートグレイス 大宮璃宮(4)

千葉 : セントグレース ヴィラ(2)
 新浦安 : アートグレイス・ウェディングコースト(5)

横浜 : アートグレイス・ポートサイドヴィラ(4)
 伊勢山 : 伊勢山ヒルズ(7)

星ヶ丘 : 星ヶ丘・アートグレイスクラブ(2)
 名古屋丸の内 : アプローチスクエア名古屋(1)
 名古屋八事 : サー ウィンストン ホテル(4)
 名古屋港 : セントグレース大聖堂(3)

国内婚礼・ホテル事業 店舗展開の状況② (ブランド別)



ArtGrace アートグレイス

マルチゲストハウスタ입の大型店舗。
2ゲストハウスタ입は「アートグレイスクラブ」。
ベストブライダルのメインブランド。

- ・A.R.E.仙台アートグレイス・ウエディングフォレスト (仙台)
- ・アートグレイス ウエディングシャトー (大宮)
- ・アートグレイス 大宮璃宮 (大宮)
- ・アートグレイスクラブ (白金)
- ・アートグレイス・ウエディングコースト (新浦安)
- ・アートグレイス・ポートサイドヴィラ (横浜)
- ・星ヶ丘・アートグレイスクラブ (星ヶ丘)
- ・アートグレイス・ウエディングコースト (大阪)
- ・アートグレイス ウエディングヒルズ (京都)



セントグレース

本格的な大聖堂が特徴。
2ゲストハウス以上の規模。

- ・セントグレース ヴィラ (千葉)
- ・セントグレース大聖堂 (青山)
- ・セントグレース大聖堂 (名古屋港)
- ・セントグレース ヴィラ (心齋橋)
- ・伊勢山ヒルズ (伊勢山)



アプローズスクエア

ハイクオリティにこだわった
1ゲストハウスタ입の店舗。

- ・アプローズスクエアTOKYO (市ヶ谷)
- ・アプローズスクエア迎賓館 (赤坂)
- ・アプローズスクエア名古屋 (名古屋丸の内)
- ・アフロディテ (日本橋)
- ・パラッツォ エ マーレ (お台場)



ホテル

- ・ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ（浜松町）
 - ・ニューヨークラウンジ
 - ・ラ・プロヴァンス/ブティ・プロヴァンス
 - ・鉄板焼「匠」
 - ・ジリオン
 - ・シェフズ ライブ キッチン
 - ・レインボーブリッジビューダイニング&シャンパンバー マンハッタン
- ・ストリングスホテル東京インターコンチネンタル（品川）
 - ・ザ・ダイニング ルーム
 - ・チャイナシャドー
- ・サー ウィンストン ホテル（名古屋八事）
 - ・鉄板焼レストラン YAGOTO-TEI
 - ・焼魚レストラン SAKANA-TEI
 - ・しゃぶしゃぶ亭
 - ・ヴィラ スカラ マンジャーレ
 - ・カフェ&ブッフェ W café



家族挙式

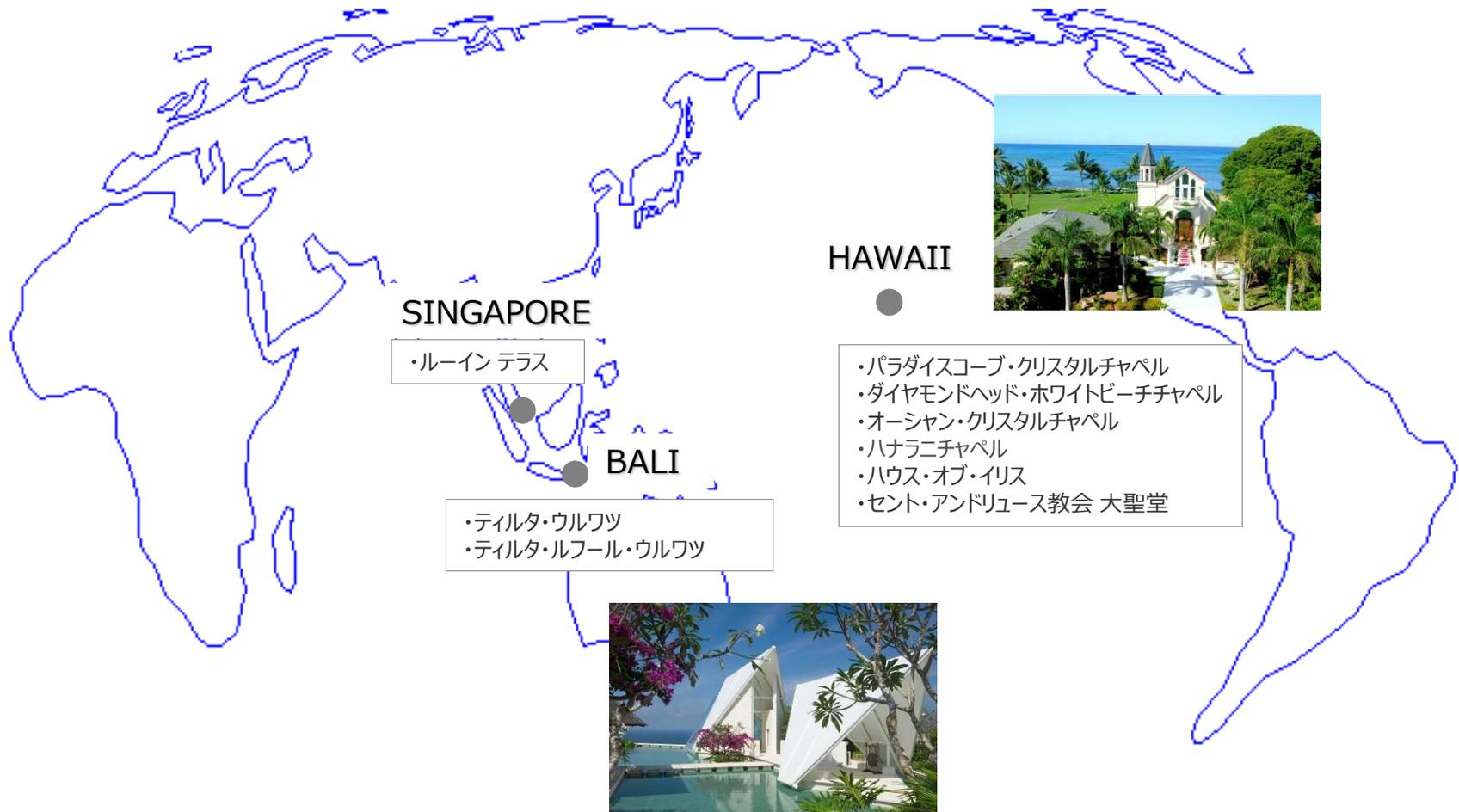
- ・オーシャンビューチャペル・トーキョーベイ（浜松町）
- ・セントアクアチャペル（梅田）



レストラン

- ・四季庭（大宮）
- ・VINO BUONO（青山）
- ・マンジャーレ（伊勢山・お台場・千葉・新浦安・心斎橋・横浜・大宮）

アメリカ・ハワイに6施設、インドネシア・バリに2施設、合計8施設を展開
シンガポールでレストランを開業



会社名	株式会社ツカダ・グローバルホールディング
英文名	TSUKADA GLOBAL HOLDINGS Inc.
設立	1995年10月
本社	東京都渋谷区東三丁目11番10号
代表者	代表取締役社長 塚田 正之
資本金	472百万円
従業員数	連結 1,622名
発行済株式の総数	48,960,000株（単元株数100株）
株主数	6,196名
連結子会社	(株)ベストブライダル (株)ベストプランニング (株)アクア・グラツィエ (株)ホスピタリティ・ネットワーク (株)ベストグローバル (株)FAJA (株)RAJA (株)Retreat Best Bridal Hawaii, Inc.（米国法人） PT.Tirtha Bridal（インドネシア法人） Best Bridal Korea Inc.（韓国法人） Ecpark Pte.Ltd.（シンガポール法人）